



2019. 7  
No.13

# GOVERNOR'S MONTHLY LETTER

国際ロータリー 第2620地区 ガバナー月信



## CONTENTS

- ②ガバナー挨拶
- ③ガバナー補佐挨拶
- ④⑤地区委員長挨拶
- ⑥R I 国際大会報告/  
受入学生さよならオリエンテーション報告
- ⑦R A 関東ブロック研修会報告/R A 地区協報告
- ⑧第5回地区戦略計画委員会・諮問委員会報告/  
次年度引継ぎ式および米山奨学生指定校選定会議報告
- ⑨R L I ミーティング (DL 研修) 報告/  
静岡英和 I A C 認証伝達式報告
- ⑩甲府東R C 30 周年記念式典報告  
浜北R C 35 周年記念例会・記念式典報告
- ⑪最終ガバナー補佐会議報告/新会員紹介
- ⑫新会員紹介/編集後記

## 一年間ありがとうございました！

国際ロータリー 第2620地区  
2018-19年度 ガバナー

星野 喜忠 (大月RC)



### “BE THE INSPIRATION”

インスピレーションになるう

2018～2019年度のバリー・ラシンR I会長が掲げたこのテーマのもと、私たちは1年間活動を展開してまいりました。私たちはどのようなインスピレーションになれたのでしょうか。私は今年度、ガバナーとしての役割を通して、皆様から多くのインスピレーションを得ました。

#### ☆新グループ編成で始まった1年

今年度は新しいグループ編成で始まったため、それぞれのグループが抱えるクラブ数も増え、ガバナー補佐の皆様におかれましてはその「最初の一年」にあたり、ご苦労も多くあったことと存じます。それぞれのIMに参加し、各グループのまとまりを拝見し、一安心いたしております。ガバナー補佐の皆様のリーダーシップに深く感謝申し上げます。

#### ☆ハンブルク国際大会

今年度を締めくくる国際ロータリー最大の行事「国際大会」は、ドイツのハンブルクで開かれました。国際大会プログラムの一部の開会本会議に出席いたしました。当地区のオフィシャルツアーには11名が参加。地区ナイトへは46名の皆様にご参加いただきました。遠隔地での開催でしたが、地区内の多くのロータリアンの皆様とともに国際大会の地ハンブルクで集うことができ、大変有意義で、楽しいひと時となりました。2019-20年度はハワイでお会いいたしましょう。

#### ☆ゼロクラブ - ゼロを達成

年度末の会員数は期首会員数を下回りました。しかしながら、グループ単位で見ますと、期首会員数を上回っていらっしゃるグループもありますので増強の希望につながると思えます。次年度もグループがお互いに切磋琢磨し、会員増強・維持を達成できるよう祈念申し上げます。また、ロータリー財団への寄付は皆様のご協力により「ゼロクラブ - ゼロ」を達成しました。詳しい報告は、9月に発行する報告書に掲載させていただきます。そして、今年度活動が本格化したRLIですが、ディスカッションリーダーの研修を重ねております。安間ガバナー年度にはRLIのPARTIから開催できるよう、準備を行っております。

ご存知の通り、私は山梨県東部の大月RC所属で、ガバナーへの就任が決まった時点での会員数は18名。この小さなクラブからガバナーを輩出することになり、地区運営にあたっては、当時の山梨第4分区（富士吉田・都留・河口湖・富士吉田西・山中湖RC）が地区副幹事を派遣してくださいました。ガバナー年度では同分区に甲府RCが加わり、山梨第1グループとなり、地区大会の運営に大きな力となりました。地区研修委員長の野口PDGは「チーム星野」と名付けてくださり、今年度活動を共にさせていただきました。地区役員の皆様、クラブ会長・幹事、地区内すべてのロータリアンの皆様全員、この一年間、温かいご支援、ご協力を賜りましたことに深く感謝申し上げます。これからも、共にロータリーを楽しみましょう！

ありがとうございました。



## 2018-19年度 ガバナー補佐挨拶

### 静岡 第1グループ



三島RC  
西原 孝次

「伊豆半島のロータリークラブは一つ」というテーマを作り、交流を図り友好を深めることを第一目的としました。

会長幹事会を6回、クラブ訪問はガバナー訪問を含めて4回、伊東西RC 40周年、せせらぎ三島RC 30周年、そしてIMでは9クラブが全員登録で友好を深める事ができました。

皆さんのご協力、ありがとうございました。

### 静岡 第2グループ



沼津RC  
山口 和一

本年度は、分区再編による新たなクラブとの交流、また多くのロータリアンとの出会いがありました。

年当初より「新しい出会いと絆」「米山梅吉記念館と梅吉翁の周知」を目指し活動してまいりました。「米山財団」と「記念館の財団」は違う財団法人であることを全国的に知って頂くことが必要であると感じた一年でした。

### 静岡 第3グループ



静岡RC  
浅原 諒蔵

分区制からグループに組織が変わり、その最初のガバナー補佐ということで戸惑いも多く、補佐としての役割を十分に果たせなかったことを申し訳なく思っております。お付き合いの無かったクラブ同士の交流や親睦の機会をもっと設けるべきであったと反省すること頻ります。また、RIのテーマが理解しづらく、その意味するところをどこまでお伝えできたかも分かりませんが、各クラブの会長・幹事の皆さんのご支援やご協力により、その役目を終えることができましたことに感謝を申し上げます。

### 静岡 第4グループ



藤枝RC  
村松 英昭

当初、分区の再編による新しいグループをどのようにまとめていったら良いか悩みました。まずは親睦を深めることを目標にし、会長幹事会の会議後に毎回懇親会を開き、各クラブの会長幹事間の親睦を図りました。その結果、期末のクラブ訪問では、期首に訪問した時のごちなさはなくなり、新グループ編成を受け入れたと感じられる穏やかさに触れました。

1年間ありがとうございました。

### 静岡 第5グループ



浜松東RC  
神谷 竹彦

星野ガバナーと第5グループを繋いで、11RC、600名を越す会員の成果の上がるロータリー活動を実現しようと一年間奮闘してきました。

「花のリレーPJ」という全体事業を通して、11RCの一体感を味わい皆さんと一緒に活動してきた感動で胸一杯です。

### 山梨 第1グループ



富士吉田RC  
宮下 節夫

グループ内7クラブを各4回訪問させて頂き、ご丁寧な対応を受け、多くの方々との交流を深めることができました。また、各クラブの意欲的で個性のある、創意工夫した例会を拝見し、感銘を受けました。

生涯忘れられない貴重な経験をさせて頂いた1年となりました。各クラブの皆様にご心より御礼と感謝を申し上げます。

### 山梨 第2グループ



甲府北RC  
五味 正好

新しいグループ編成の下に、1年が過ぎました。星野喜忠ガバナーのもと各クラブの融和の中で会長・幹事をはじめ、各クラブの皆様には、ご協力いただきありがとうございました。特に星野ガバナーには、規模の小さいクラブが多いグループでありながら、各グループを上手くまとめて、その力量は高く評価されたことと思います。ガバナー補佐として至らぬ点が多い中、皆様のご協力に感謝いたします。

### 山梨 第3グループ



甲府南RC  
立川 茂

「お互いを知る」をキーワードとして活動した一年でした。

これからは新規に作成したグループ内会員の写真入り名簿を活用し、各クラブが連携しながら活動できる環境を整えていければと思います。訪問を重ねる度、新たな魅力を発見し、とても楽しく活動させて頂いた事に感謝申し上げます。

## 2018-19年度 地区委員長挨拶



会員増強維持委員会  
委員長 勝俣 重信(富士吉田RC)

私が星野ガバナーの下で、無事に大役を終了できたのは、各クラブの委員長さんのおかげです。残念ながら会員増強の地区目標は達成できませんでした。安間年度のご成功と、79クラブの益々のご発展を衷心よりお祈り申し上げます。1年間ありがとうございました。



公共イメージ向上委員会  
委員長 奥脇 芳弘(富士吉田西RC)

公共イメージ向上委員会は、昨年度に引き続き「世界ポリオデープロジェクト」と題したポリオ撲滅キャンペーンを、地区内クラブへお願いいたしました。その結果、79RC全クラブがエンドポリオの啓蒙活動や、募金活動にご協力くださいました。この場をお借りして、改めて感謝申し上げます。



職業奉仕委員会  
委員長 相川 義美(都留RC)

各クラブの職業奉仕委員会の委員長と委員の皆様には、1年間お世話になりました。お蔭をもちまして、第2620地区職業奉仕委員長の大役を無事務めることができました。心より感謝申し上げます。地区職業奉仕セミナーを2019年1月26日に開催。元理事・元RI職業奉仕委員長を務められた黒田正宏パストガバナーを講師にお迎えして、演題「職業奉仕の過去、現在、将来」について講演を行っていただきました。平成最後の年に相応しいセミナーになったと思います。当日は大変寒い中、星野喜忠ガバナー、当委員会アドバイザーの

高野孫左エ門パストガバナー、そして2620地区79クラブの会長及び職業奉仕委員長など170名のご参加をいただき、ありがとうございました。また、セミナー開催にあたり、進行を務めていただいた地区役員の山地峰春副委員長、小林禎治委員、そして事務処理をしてくださったガバナー事務所スタッフの皆様、また会場設定から、寒い中案内板をもって会場の案内と駐車場の整理を行ってくださった都留RCの会員の皆様に心より感謝申し上げます。



社会奉仕委員会  
委員長 梶原 秀博(河口湖RC)

「奉仕のあり方を学ぶ」をテーマとして、今回は社会奉仕委員会と国際奉仕委員会合同によるセミナーを2018年9月2日、富士河口湖町の富士レークホテルで開催しました。当日は雨でしたが79RCから各クラブ会長、社会奉仕委員会、国際奉仕委員会のメンバーなど210名の方のご参加いただき、無事終了することができました。セミナーの第一部で「ヤフーが考える地

域への取り組み」と題してご講演をいただいた内藤剛様、第二部ロータリーの創始者米山梅吉翁を題材としたひとり語り「魁の人 米山梅吉」を演じていただきました女優大塚良重様には心から感謝申し上げます。

セミナー開催にあたり、社会奉仕委員会の皆様と、国際奉仕委員会の皆様初め、お世話になりましたすべての皆様に感謝申し上げます。

**国際奉仕委員会**委員長 **渡辺 英之** (河口湖 RC)

委員長の委嘱状伝達から、早いものでもう1年が過ぎました。昨年9月に社会奉仕委員会、国際奉仕委員会の合同セミナーを開催しました。国際情勢が混沌としている中、国際奉仕への期待は大きいものがあると思います。次期委員長、各委員の今後のご活躍をお祈り申し上げます。

**ロータリー財団委員会**委員長 **曾根 真人** (富士山吉原 RC)

3年任期の財団委員長としての最後の年度も無事終了できましたことを皆様に感謝申し上げます。年次寄付は目標には到達できませんでしたが、79クラブすべてからご寄付を頂きました。地区財団活動資金もほぼ全額有効に活用できました。次年度からは新しい体制でスタートいたします。

**青少年奉仕委員会**委員長 **渡辺 衛** (富士吉田 RC)

今年度、青少年交換小委員会では学生5名を受入・派遣し、それぞれの学生が国際親善大使として大きく成長する姿を拝見しました。IA小委員会としては、静岡英和女学院中学校・高等学校IACが新たに仲間に加わり、地区内IACの今後のさらなる活性化が期

待されます。RA小委員会としては、2019規定審議会で大きな過渡期を迎えたローターアクターですが国際協議会へ地区代表が招かれたこと、当地区初開催の関東ブロック研修会の成功などが印象に残っております。1年間ありがとうございました。

**米山記念奨学委員会**委員長 **長田 達彦** (笛吹 RC)

米山記念奨学委員会は6月16日に米山梅吉記念館で開いた「次年度への引継式」「米山奨学生指定校の選定」をもち、すべての事業を完了しました。ここ数年の米山記念奨学委員会の歴代委員長はガバナーを盛り立て協調しながら、さらに委員会の体質強化を図ってこられた哲人ばかりです。お蔭様で私のような凡人が、前委員長の指導を受けながら普通に努力をして職務を果たすことができました。1年1期のロータリー組織に

おいて、地区委員会はその継続性を支える維持装置のようなものかと思います。いわば「テクノクラート(技術官僚)」集団であることを誇りとして、3年から5年、一つの分野に集中することが求められます。60数年の歴史を刻んできた米山記念奨学事業のほんの一瞬のような1年間を、地区委員長として働かせていただき、光栄でありました。

皆さん、1年間ありがとうございました。

**米山梅吉記念館委員会**委員長 **外川 正知恵** (河口湖 RC)

米山梅吉記念館は次年度50周年を迎えます。星野ガバナーには準備期間のため、ご支援ご指導をいただき、地区内ロータリアンの皆様や全国のロータリアンの皆様の心温まるご支援に、心より感謝申し上げます。50周年を機に館が全国のロータリアンの聖地となるよ

う、地区及び運営委員共に努力していく所存です。

9月14日(土)に三島市の東レ研修センターで記念式典が挙行されます。多くのロータリアンの皆様のご出席をよろしく願います。

1年間のありがとうございました。



## ハンブルク国際大会報告

2018-19 年度 国際大会推進委員会  
委員長 大川 正勝 (甲府RC)

ハンブルク国際大会の開会本会議は6月2日、ドイツのハンブルク市内にある「ハンブルク メッセ」で開かれました。開会本会議は午前・午後の2部制で当地区内からの参加者も午前・午後とそれぞれに振り分けられました。

開会本会議のプログラムは途中退席がないよう工夫されていて、パフォーマンスなどを盛り込み、バリー・ラシンRI会長のあいさつは後半に設定され、RI会長としての1年を振り返る内容のスピーチがありました。開会本会議同日の午後7時から地区ナイトをハンブルク市庁舎内にあるレストラン「パラメント」で開き、46名の皆さんにご出席いただきました。アメリカのRI第5280地区からリトル東京RCの中曾根牧子会員もゲストとして参加されました。司会は小俣理美地区幹事が担当し、終始なごやかな進行となりました。星野喜忠ガバナーのあいさつに続き、小俣地区幹事が出席者を紹介し、高野孫左エ門パストガバナーに乾杯のご発声をいただきました。その後、6月1日にお誕生日を迎えられた立川茂山梨第3グループガバナー補佐の元へサプライズでバースデーケーキが運ばれ、星野ガバナーからプレゼントが手渡され、参加者全員で立川ガバナー補佐のお誕生日を祝いました。中締めのお言葉を野口英一パストガバナーからいただき、次年度ハワイで地区ナイトを開催する安間みち子ガバナーエレクトから閉会の言葉をいただきました。行き届きの点もあったことと存じますがご容赦ください。

ご参加いただいた皆さん、誠にありがとうございました。



## さよならオリエンテーション開催報告

2018-19 年度 青少年交換小委員会  
委員長 原田 安之 (浜松南 RC)

「さよならオリエンテーション」を6月8、9の両日、河口湖カントリーコテージBANで開催いたしました。参加者総数は63名。今年度のインバウンド学生はリリー(御殿場RC)、イニャツィオ(甲斐RC)、レンツォ(磐田RC)、アロン(浜松RC)、カロリーネ(浜松南RC)の5人。次年度派遣候補生で山梨RCからフランスへ派遣予定の千野隼希君、浜松東RCからフィンランドへ派遣予定の中村友美さん、浜松南RCからスペインに派遣予定の氏原衣織さんの3人も揃いました。RID 2600からも長期派遣学生3名、短期派遣学生2名はじめ多くの方にご参加いただきました。インバウンド学生は8月の来日から早くも10カ月。ホストクラブ、ホストファミリーからの支援を受け、自国と日本との懸け橋になるべく多くの経験をしたことと思います。初めは文化の違いと言葉の壁にぶつかり、徐々に日本にも慣れ、

新年を迎えたころからは充実した日々を過ごしたことと思います。各自が日本滞在中に経験したこと、感じたことを

発表。それぞれの思いが十分伝わる素晴らしい発表でした。帰国してからは、今回の経験を生かして世界平和のために親善大使として活躍してくれるものと期待しています。委員会を1年間運営できたのもガバナー、アドバイザー、ホストクラブ、カウンセラー、ホストファミリー、委員会メンバーの協力があったこと、皆様には感謝の気持ちでいっぱいです。次年度以降も青少年交換事業がますます発展し、若い学生たちに一人でも多くの経験を積ませて



将来の日本、また、世界のためになる青年を送り出しているだけのもっと信じています。皆様、本当にありがとうございました。



## RA第30回関東ブロック研修会報告

2018-19年度 ローターアクト地区代表  
中尾 宏行 (甲府南RAC)

RA第30回関東ブロック研修会を6月8、9の両日、静岡市の札の辻クロスホールで開きました。関東ブロック研修会は、11地区で構成された関東ブロックのRACが年に一度、親睦と交流を深めることを目的に開催しております。この研修会を開催するにあたり、定期的に関東ブロック代表者会議を行い、研修会内容等をしっかりと準備してまいりました。今年度の関東ブロック研修会のテーマは「世界に残そうアクト遺産」とさせていただきます。またメインプログラムはプレゼン番組「TED」のパロディ形式で、10地区からスピーカーを輩出していただき、その地区の自慢できるもの、例えば課題解決やスピーカー自身についてのスピーチを行っていただきました。まじめなものからユニークなものまで、実にさまざまなスピーチが行われ、全く飽きることのない2日間を参加したローターアクトおよびロータリアンの皆様に提供できたのではないかと思います。これも、関東ブロックのローターアクト達、日々精力的にアクト活動に励み研鑽を積んできたからこそ、あのような緊張の多いステージでも堂々とパフォーマンスを行えたと考えています。



当地区は10年後にはさらに規模の大きい全国研修会を準備しなければなりません。今回の経験をしっかりと引き継ぎ、全国のローターアクトをお迎えできればと思っています。



国際ロータリー第2620地区

## ローターアクト第45回地区協議会報告

2018-2019年度 第45回地区協議会  
実行委員長 富永 里紗 (静岡RAC)

今回、地区協議会を迎えるにあたり「プレ地区協議会」と称した合同例会を4月に行いました。「地区協議会とは」と題し、それまでに準備する必要がある事等を各クラブに共有したため、今回の地区協議会はこちら最近としては一番有意義なものになったと思っています。各クラブ会長の次年

度活動方針発表の内容は、私の予想を上回る出来栄でした。地区協議会では他に、表彰式、卒会式、地区役員引継式、次年度地区方針発表等があります。近年の当地区の地区協議会の内容は、なんとなくやっていた印象があるので今年度は従来のそれを一旦白紙にし、ロータリークラブや友好



地区ローターアクトの地区協議会を参考にしながら、その中で現状私たちができるものを挙げ「必要最低限のものでも、それをしっかりと行う」と決め、各クラブに動いてもらいました。今年度の内容を基盤とし、以降はどんどんそれに肉付けができるようになります。よいです。

3年前に重い音を鳴らしながら回り始めた歯車が、次年度はよりスムーズにしっかりと回ってくれる事を願っています。ロータリアンの皆様にもご理解ご協力を得られるよう、報告等をしっかりと行っていきます。次年度もご指導ご鞭撻のほど、よろしくお願い致します。



## 第5回地区戦略計画委員会・第5回地区諮問委員会報告

2018-19年度 国際ロータリー第2620地区

地区幹事 小俣 理美 (大月RC)

2018～2019年度最終の第5回地区戦略計画委員会と第5回地区諮問委員会を6月15日、甲府市の古名屋ホテルで開きました。午前開催の地区戦略計画委員会には星野喜忠DG、志田洪顯・野口英一・生子哲男・松村友吉PDG、安間みち子DGE、荻原英生DGN、小林聰一郎DGNデジグネート、地区スタッフの14名の皆様にご出席いただきました。RLIの今後の展開や運営についての話し合いが行われ、松村議長によるリードのもと、議事をすすめました。

午後に開催した地区諮問委員会には上記メンバーに加え、渡邊脩助・井上雅雄・積惟貞PDGにご出席いただき、合計17名の皆様にご出席。冒頭で星野DGが挨拶をし、その後、野口議長が会議を進行されました。第4回地区諮問委員会議事録承認後、星野DGから午前に開かれた地区戦略計画委員会の報告をしました。続いて、野口議長が高野PDGの代理で規定審議会の報告をされました。諮問事項に移り、中村次期地区幹事から地区ホームページ運用の説明がありました。ロータリー米山記念



奨学会の評議員選任については引き続き積PDGの続投が決まりました。報告事項の24項目については、野口議長と星野DGが説明されました。

その後は懇親会へ移り、星野ガバナーのご挨拶の後、ガバナー章および地区幹事章を引き継ぎました。安間DGEの乾杯のご発声で華やかに宴がスタート。親交を深め、有意義な時間となりました。



## 委員会次年度引継ぎ式および米山奨学生指定校選定会議報告

2018-19年度 米山記念奨学委員会

委員長 長田 達彦 (笛吹RC)

「委員会次年度引継ぎ式」と「米山奨学生指定校選定会議」を6月16日、米山梅吉記念館で開きました。引継ぎ式では、5年間にわたり当委員会アドバイザーをお務めいただいた井上雅雄PDGから退任のご挨拶があり、新たにアドバイザーに就任された志田洪顯PDGから就任のご挨拶をいただきました。また、長年にわたりロータリー米山記念奨学会の理事を務められた勝山國太郎PDGのご逝去により、井上雅雄PDGが同理事に就任されたことが報告されました。委員会のメンバーについては今年度で2名が退任し、1名の新委員を迎えることが報告されました。その後、私からすべての事業について、それぞれの活動内容と費用の内訳を説明し、地区予算1,000,000円、ロータリー米山記念奨学会からの奨学生活動補助費1,664,090円の用途内訳を説明し、269,211円の予算超過の内容により承認を得ました。また、引継ぎ項目の重要項目として「世話クラブ引き受け状況」について報告を

しましたが、地区内79RC内で、「引き受けOK」と回答したクラブが32RC、「引き受け不可」と回答したクラブが47RC（未回答の20RCを含む）という現状について説明・解説をしましたが、グループ別に俯瞰（ふかん）すると、大学所在地に世話クラブが集中していることは否めず、寄付への意欲や納得性の上からも今後の地区と委員会の課題であることを確認しました。また、地区内クラブ別寄付実績表（5月末現在）を元に、各RCの寄付状況について確認しましたが、いまだ「普通寄付」と「特別寄付」の理解が徹底されていないクラブが散見され、これについても今後の課題となりました。その後、新年度の影山忠弘委員長から、新年度の当地区の奨学生割当数は23名（継続8名・新規15名）を前提に、エリア別・学校別の基本方針が示され、ロータリー米山記念奨学会への方針提示内容が決定されました。



## 第3回RLIミーティング(DL研修)報告

2018-19年度 RLI準備室

委員長 野口 英一(甲府RC)

ディスカッションリーダー(以下、DL)候補者を対象に6月22日、第3回RLIミーティング(DL研修)を改修工事中の米山梅吉記念館で開催しました。星野喜忠DGをはじめ、地区戦略計画委員会のメンバー、DL候補者の合計37人が参加しました。

星野DGの挨拶に続いて、私から当日の講師で当地区のRLI推進とDL研修に多大なご協力をいただいている、RLI日本支部代表ファシリテーター・RI第2770地区の中村靖治PDGを紹介させていただきました。その後、中村PDGの「RLIの実践に向けて」と題した講話に移りました。中村PDGは「10月のDL研修に向けてトレーニングをしてほしい。そして、RLIパートIに備えたチーム作りをしてほしい。柔軟な対応を」と話されました。また、高野孫左エ門PDGからは午後の演習に備え「ディスカッション

リーダーの手法～技術編」と題した講話をしていただきました。

昼食を挟んで午後は2つのグループに分かれ、DLの演習を行いました。DL候補者それぞれが1人10分の持ち時間でDL役を務め、中村・高野両PDGから指導を受けました。安間年度でRLIを開催できるよう、目標を持ってRLIを推進していきたいと存じます。引き続き、皆様のご理解とご協力のほど、何とぞよろしくお願いいたします。



挨拶をする星野DG



講話に耳を傾ける参加者



DL演習で自己紹介をする参加者



中村PDGから指導を受けるDL候補者



## 静岡英和女学院インターアクトクラブ認証状伝達式報告

2018-19年度 インターアクト小委員会

委員長 谷本 宏太郎(静岡RC)

静岡英和女学院中学校・高等学校インターアクトクラブ(以下、IAC)認証状伝達式を6月24日、静岡RC創立記念日の夜間例会で行いました。静岡英和女学院は「愛と奉仕」を建学の精神とし「生き生きときらきら輝きながら人生を歩むことができる女性の育成」を教育理念とし、「隣人愛」の実践を通して豊かな人間性を育てているプロテスタントの学校です。また、英語教育に力を入れており、さまざまな留学制度も充実していて、国際的視野を持った人材の育成を行っております。その学校に、静岡RCの提唱

でIACが設立されました。静岡RCでは以前から静岡英和女学院中学校・高等学校も含めた形で静岡高等学校IACおよび静岡RACと合同で奉仕活動を行ってききましたので、IACを提唱することは自然の流れでした。今後は奉仕活動に限らず国際理解を深める青少年交換事業への参加も期待しています。

近年少子化に伴う学校統廃合などもありIACは減少傾向にありましたが、星野年度に1つクラブを増やすことができ、当地区は19のIACを持つことになりました。





## 甲府東RC創立30周年記念式典報告

甲府東RC 2018-19 年度会長

岸本 務

5月25日、岡島ローヤル会館にて甲府東RC創立30周年記念式典が、滞りなく行われました。式典には、樋口雄一甲府市長、星野喜忠ガバナーをはじめバスターガバナーの皆様、親クラブの甲府RCの梅本実会長をはじめ山梨県内クラブの会長、また姉妹クラブのRI第2790地区の君津RCの皆様など、大勢のロータリアンにご参加いただきました。また、講演には(株)天水研究所の村瀬誠先生を迎え「生命を救う天水活用ソーシャルプロジェクト」という題名で講演をしていただきました。記念事業としては、バングラデッシュへの雨水タンク贈呈、山梨県ジュニアバドミントン優秀選手表彰、米山記念奨学会寄付、「米山梅吉記念館創立50周年」寄付を行いました。今年度の国際ロータリー会長バリー・ラシン氏のテーマ「インスピレーションになるう」は、ロータリーをこれまで以上に世の中に広げていくことを示しています。また、今年度の当クラブのテーマは「奉仕を充実する」です。今後も甲府東RCは全員が力を合わせて奉仕活動に励み、さらなる地域の発展に寄与して参ります。



## 浜北RC創立35周年記念例会・式典報告

浜北RC 2018-19 年度会長

藤原 徹

35周年の記念例会を6月21日、内輪だけでのお祝として開催しました。今回の記念事業としてはグローバル補助金を活用し、ネパール山岳地での地震の復興支援を行いました。小学校にトイレと手洗いを建設。ネパールのヒマラヤンゴルカRCとの合同事業です。一昨年から、当クラブ会員からの個人寄付、日本国外務省の補助金などの支援を得て、学校建設に着手してきました。今回は、その総仕上げとしての事業となります。

5月に会員14名でネパールに行き、ヘリコプターで現地の完成式に出席。400名の子供達の通う学校を確認し、今回の事業が有意義であったと感じました。初めての海外ボランティアで、今後の当クラブの大きな財産となりました。

グローバル補助金承認には多くの時間と労力が必要で、担当部署は4度ネパールを訪問しました。当地区ロータリー財団の関係諸氏の皆様には大変お世話になり、ありがとうございました。



創立35周年記念式典を家族とともにお祝い



ネパール訪問時のセレモニー



建設したトイレ



## 最終ガバナー補佐会議報告

国際ロータリー第 2620 地区  
2018-19 年度地区幹事  
小俣 理美 (大月RC)

最終ガバナー補佐会議を6月26日、甲府市の古名屋ホテルで開きました。冒頭で星野ガバナーは「今年度は新しい8グループ編成の元でスタートし、編成後初のガバナー補佐の皆様は、大役だったと拝察する。反省の積み重ねが、良き新しい制度への転換になっていけばと思うので、忌憚なき意見を聞きたい。今年度は小さいクラブからガバナーを輩出したので、山梨第1グループ内クラブに運営の応援をしていただいた。女性初の地区幹事の小俣さんとタックを組み、ガバナー補佐の皆様の温かいご協力とご支援を受けながら何とか一年間、ガバナーの大役を務めることができたことに感謝する」と挨拶。年度末会員数の予定一覧、MY ROTARYの登録状況、ロータリー財団への寄付一覧、ロータリーカードへの登録状況、ロータリー米山記念奨学会への寄付一覧などの資料を提示の上、報告



をいたしました。続いて、8名のガバナー補佐から順番に年度の報告をしていただきました。最後に私から謝辞を述べさせていただきました。星野ガバナー年度に、このめぐり合わせで地区運営に関われたことに、心から御礼申し上げます。

その後は懇親会に移り、情報交換と一年間の思い出話を語り合う、大変有意義なひと時を過ごしました。

## 新 会 員 紹 介

- ①入会日
- ②職業分類
- ③趣味



**深沢 成彦**  
山梨第2グループ  
甲府北RC  
①2018年7月11日  
②建築設計  
③キャンプ



**小俣 孝一**  
山梨第2グループ  
甲府北RC  
①2018年9月12日  
②行政書士  
③ジョギング、旅行



**坂本 繁**  
静岡第4グループ  
焼津RC  
①2018年10月4日  
②不動産売買  
③野球



**福島 英明**  
静岡第2グループ  
沼津北RC  
①2018年10月9日  
②総合設備工事  
③日本史、読書、映画鑑賞



**板倉 一真**  
静岡第2グループ  
沼津北RC  
①2018年10月30日  
②商業銀行  
③サッカー観戦



**豊嶋 孝一**  
静岡第4グループ  
焼津RC  
①2018年11月8日  
②酒類製造  
③温泉



**河合 博**  
静岡第4グループ  
焼津RC  
①2019年1月17日  
②水産物加工  
③読書、ゴルフ



**片岡 征哉**  
静岡第4グループ  
焼津RC  
①2019年4月4日  
②活鰻販売  
③ゴルフ



**高橋 幸弘**  
静岡第4グループ  
焼津RC  
①2019年4月18日  
②衣類販売



**原崎 宗典**  
静岡第4グループ  
焼津RC  
①2019年4月18日  
②写真撮影  
③ゴルフ、サーフィン、食べ歩き



**青田 義仁**  
静岡第1グループ  
伊東西RC  
①2019年4月19日  
②生命保険  
③ゴルフ



**根津 雅憲**  
山梨第3グループ  
甲府南RC  
①2019年4月23日  
②生命保険  
③ゴルフ



**松村 秀治**  
山梨第3グループ  
甲府南RC  
①2019年4月23日  
②生命保険  
③旅行



**佐久間 博之**  
静岡第4グループ  
焼津RC  
①2019年4月25日  
②電気工事



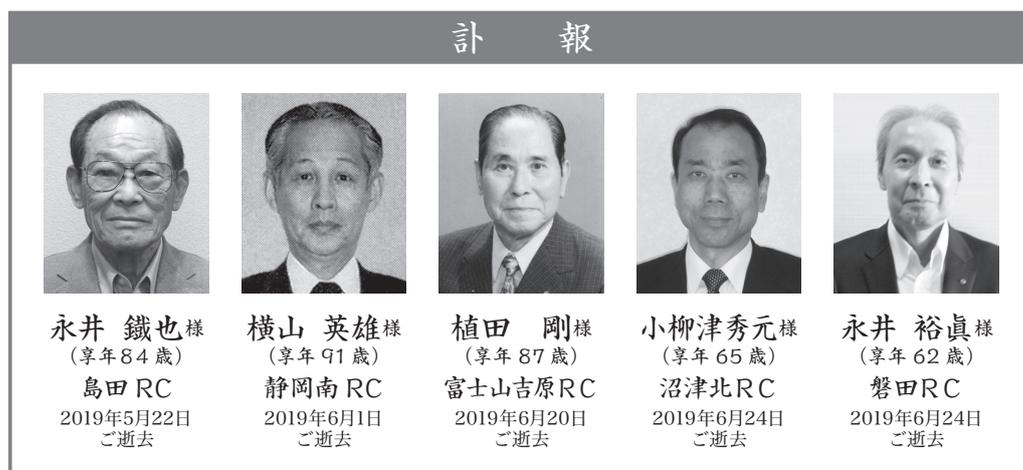
**鈴木 勝一**  
静岡第2グループ  
沼津北RC  
①2019年5月14日  
②不動産活用コンサルタント  
③ゴルフ、読書、競技カタル



**西内 善信**  
静岡第2グループ  
沼津北RC  
①2019年5月14日  
②警備保障  
③スポーツ観戦



**藁科 太祐**  
静岡第4グループ  
島田RC  
①2019年5月16日  
②保険代理業  
③ランニング、お酒



## ◆ ◆ ◆ 編集後記 ◆ ◆ ◆

星野喜忠ガバナー年度の「ガバナー月信最終号」をお送りいたします。最終号はご周知の通り、PDF版でのお届けとなります。

ガバナー月信編集長を星野ガバナーから仰せつかり、当初は大役に緊張いたしました。編集スタッフ一同が心を込めて作成にあたりました。クラブ、グループ、そして地区のさまざまな情報を会員の皆様にお届けできるよう、また、コンパクトで充実した読みやすい広報誌となるよう務めてまいりました。ガバナー月信を発行するのにあたり、原稿の執筆依頼を

快く引き受けてくださいました皆様に、深く感謝を申し上げます。不慣れのため、不行き届きの点もあったことと存じますが、お許しください。

一年間、誠にありがとうございました。

国際ロータリー第2620地区  
2018～2019年度  
ガバナー月信編集長  
瀧本敏勝(都留RC)



国際ロータリー第2620地区 2018-2019年度ガバナー事務局  
〒401-0015 山梨県大月市大月町花咲193  
TEL. 0554-21-2620 FAX. 0554-21-2621  
E-mail: 18to19g.hoshino@ri2620.gr.jp